



月報だよりの原稿は毎月20日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載いたします。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申込みください。

e-mailで toukou@geppou.asj.or.jp 宛にお送りください。折り返し、受領の連絡をいたします。

人事公募

国立天文台天文情報センター 石垣島天文台 講師

国立天文台では、石垣市、石垣市教育委員会、沖縄県立石垣青少年の家、特定非営利活動法人八重山星の会、琉球大学と国立天文台が協力して運営する石垣島天文台を率いる施設の責任者として勤務する講師を公募します。石垣島天文台は九州・沖縄で最大となる口径105 cm むりかぶし望遠鏡を備え、太陽系天体や突発天体の観測研究及び市民に対する天文学の広報普及を行っています。光赤外線天文学大学間連携(OIS-TER)の一員として共同観測を実施するとともに、口径20 mの電波望遠鏡を備えるVERA石垣島観測局と連携した教育活動にも取り組んでいます。石垣島天文台の公開・教育・研究を強力に推進する強い意志を持った方の積極的な応募を期待します。

1. 募集人員：講師1名
2. (1) 所属：国立天文台天文情報センター石垣島天文台
(2) 勤務地：沖縄県石垣市
(勤務地の変更の範囲) 法人の指定する場所
3. 専門分野：観測天文学
4. 職務内容：

国立天文台は、2006年に石垣島天文台を設置し、以来、石垣市、石垣市教育委員会、特定非営利活動法人八重山星の会、沖縄県立石垣青少年の家、琉球大学の6者で構成する協議会によって運営してきました。望遠鏡施設見学・併設施設の宇宙シアター(石垣市星空学びの部屋)・むりかぶし望遠鏡による観測研究および観望会などの公開業務、地元の大学や高等学校等と連携した教育業務、そして国内外の研究者・研究機関とも協力して進める研究業務を実施しています。

本公募では、このような石垣島天文台の特色を理解し、活動の継続性を確保するとともに、石垣島天文台の管理・運営の責任者となって、あらゆる活動

を主導していく能力と意欲のある講師を求めます。(職務内容の変更の範囲) 研究教育業務全般

5. (1) 着任時期：採用決定後なるべく早い時期
(2) 任期：なし(定年は65歳年度末)
(3) 試用期間6ヶ月
6. 応募資格：理学または工学の分野で博士の学位を有するか、またはそれと同等以上の方
応募者に求める必須能力：
 - (1) 観測天文学、特に光赤外線天文学の十分な経験や知識
 - (2) 光赤外線天文学に関する施設の管理・運営に関する能力
 - (3) 石垣島天文台の運営を円滑に実施するためのコミュニケーション能力
 - (4) 地域との連携・協働が必須のため、日本語が堪能であること

必須ではないがあれば望ましい資質：天文台や天文学の広報・教育における経験

7. 提出書類：以下の書類を日本語もしくは英語で作成の上、PDFファイルとし、9. に示す方法によりアップロードしてください。
 - (1) カバーレター
 - (2) 履歴書
 - (3) これまでの活動歴および6. で記述した必須能力や望ましい資質を持っていることを具体的に示す資料。活動歴は、研究歴および本公募に関連するものに限定してください。個人としての研究業績、活動歴の他、多人数で行った場合は果たした役割を具体的に記述してください。
 - (4) 論文リスト：査読論文とそれを区別し、共著の場合は役割分担を記すこと。論文に加え、これまでに携わった業務一覧(それぞれの業務に簡単な説明を付けてください)を追加しても構いません。
 - (5) 職務に対する抱負と計画(A4で2枚以内)
 - (6) 意見を求められる人の氏名と連絡先(2名)
 - (7) できるだけ迅速に連絡がとれる連絡先(E-mailアドレス、電話番号)
 - (8) 推薦書1通以上。ただし推薦書は応募者からの書類に含めず、推薦者から直接、下記9に

- て指定されたURLに応募締切までにアップロードするよう依頼してください。
8. 応募締切: 2025年4月15日(火) 正午(日本時間) 必着
9. 応募方法:
- (1) 下記のURL先の応募フォームにて回答の上、応募書類をファイルアップロードサービス(NAOJ Nextcloud)を通じて提出してください。
<https://forms.office.com/r/QnqrSiWXL1>
 - (2) 応募フォーム回答後、(a) 応募書類アップロード用URL、(b) 推薦書アップロード用URLが記載されたメールが送られます。
 - (3) (a) 応募書類アップロード用URLに上記7. (1)~(7) のファイルをアップロードしてください。また、(b) 推薦書用URLを使って推薦書をアップロードしていただくよう、推薦者に依頼してください。
 - (4) 提出書類については、全てをPDFに変換してください。PDF作成にあたっては解像度に注意し、あまり容量が大きくなり過ぎないようにご注意ください(1ファイル最大50MB、トータル100MB、最大10ファイルまで)。
10. 問い合わせ先:
- (1) 応募に関する問い合わせ: 国立天文台総務課人事係
E-mail: job03-seniorlecturer_AT_ nao.ac.jp
(_AT_を@で置き換えてください、以降同様)
タイトル: 「天文情報センター講師公募に関する問い合わせ」
 - (2) 職務に関する問い合わせ:
国立天文台天文情報センター
センター長渡部潤一
E-mail: jun.watanabe_AT_ nao.ac.jp
メールのSubject欄に "Inquiry on New Position for Ishigakijima Astronomical Observatory" と明記してください。
11. 待遇:
- (1) 就業時間
専門業務型裁量労働制(8時30分~17時15分(休憩60分)を基本とし、1日7時間45分勤務したものとみなす)
 - (2) 休日・休暇
土、日、祝日、年末年始(12月29日~1月3日) 年次有給休暇、リフレッシュ休暇、忌引休暇等
 - (3) 加入保険
文部科学省共済組合(健康保険)、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
- (4) 賃金等
給与: 当機構の規定に基づき学歴・職務経験等を考慮して決定(年俸制、年額の12分の1を月額支給)。
賞与: なし(相当額を年俸に含む)
諸手当: 扶養手当、住居手当、通勤手当は当機構の支給要件を満たす場合に支給。その他、当機構の定めるところによる。
昇給: 年1回(業績評価に基づく)
退職手当: 支給対象
12. その他:
- (1) 面接を行う場合があります。面接は対面またはオンラインで行います。なお、面接に要する費用(交通費、通信費等)は応募者の自己負担となります。
 - (2) 採用者には、自然科学研究機構職員就業規則が適用されます。給与については、研究教育職本給年俸表(二)が適用されます。
 - (3) 館内及び敷地内禁煙
 - (4) 自然科学研究機構は男女共同参画推進に取り組んでいます。
 - ・業績の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。
 - ・産前産後休暇、育児休業および介護休業を取得していた期間がある場合には、その旨を履歴書に記載していただければ、業績を評価する際に考慮します。
 - ・その他、国立天文台での男女共同参画社会の実現を目指した取り組みについては、下記リンクをご覧ください。
<https://www2.nao.ac.jp/~open-info/gender-equality/index.html>
 - (5) 応募に際していただいた情報は、本選考および事務連絡以外のいかなる目的にも使用いたしません。選考後、採用に至った方以外の応募書類は責任を持って破棄します。
13. 募集者名称: 大学共同利用機関法人自然科学研究機構国立天文台

研究助成

公益財団法人天文学振興財団 2025年度研究助成等応募

当財団は、天文学の振興に寄与することを目的として、天文学に関連する分野の研究、教育および普及活

動への必要な経費を助成いたします。

2025年3月1日

公益財団法人天文学振興財団 理事長 観山正見

1. 応募種目

[1] 国際研究支援事業

(1) 研究に対する助成

- ・対象：天文学に関する研究に従事する若手研究者（申請者は原則35歳以下とする）
- ・助成：研究経費（設備備品費、消耗品費、その他）1件あたり100万円以下

(2) 国際交流に対する助成

- ・対象：天文学に関する海外での国際交流活動（1ヵ月以内）に2025年6月以降参加する研究者
- ・助成：参加に要する往復航空運賃および滞在費

(3) 国際研究集会開催および参加に対する助成

①国際研究集会開催に対する助成

- ・対象：2025年7月以降に国内外において天文学に関する国際研究集会を開催する研究者グループ
- ・助成：1件あたり100万円以内。

②国際研究集会参加に対する助成

- ・対象：2025年6月以降に海外で開催される天文学に関する国際研究集会に参加、発表する研究者
- ・助成：派遣に要する往復航空運賃および滞在費

[2] 普及・啓発支援事業

(1) 普及・啓発活動に対する助成

- ・対象：天文学および関連分野の普及・啓発事業を行う個人、団体
- ・助成：事業経費（設備備品費、消耗品費、その他）1件あたり100万円以内。

(2) 「スター・ウィーク協力イベント」に対する助成

- ・対象：「スター・ウィーク2025」に協力する団体
- ・助成：開催経費等

2. 申込期限：

- ・[1]-(1)・(2)・(3)-②, [2]-(1) は、2025年5月末日、9月末日、2026年1月末日の計3回
- ・[1]-(3)-①は、第1回が2025年5月末日

（対象期間が2025）年7月以降の開催）

第2回が2025年9月末日（対象期間が2025年11月以降の開催）

第3回が2026年1月末日（対象期間が2026年3月以降～2026年6月末日迄の開催）

・[2]-(2) は、2025年5月末日

3. 選考結果：選考委員会で審査の上、採択の可否について各申込期限の約1ヵ月後に文書で通知します。
4. 報告：[1]-(1) は年度末、それ以外の助成は帰国後または開催後1ヵ月以内に報告書を提出すること。
5. 申請方法：天文学振興財団ホームページ上にWordファイルとPDFファイルを掲載します。申請書類は、一つのPDFファイルにまとめて電子メールに添付し、締切期限までに以下のメールアドレス宛にお送りください。

shinsei@fpastron.jp

天文学振興財団より受理確認メールを返信いたします。

6. 問合せ先：公益財団法人天文学振興財団 事務局
〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1

国立天文台内

Te1: 0422-34-8801

Fax: 0422-34-4053

<http://www.fpastron.jp/>

賞の推薦

公益財団法人天文学振興財団 2025年度天文学業績表彰応募

当財団は、社会における天文学の振興に寄与するため、天文学に関連する分野での顕著な業績に対して表彰をいたします。

2025年3月1日

公益財団法人天文学振興財団 理事長 観山正見

1. 応募種目

[1] 古在由秀賞

(1) 選考基準（以下のいずれかに該当する者）

- ・広い意味で理論天文研究において顕著な業績をあげた研究者
- ・天文学の広報普及に貢献した者（アマチュアも含む）
- ・広い意味で重力波天文学の貢献に顕著な業績をあげた研究者
- ・国際的に天文学の推進（特にアジアの天文学）に貢献した者

- ・天文学の推進に関して管理運営等において優れた業績をあげた者

(2) 対 象

- ・当該年度当初において45歳以下であること（個人または研究グループの代表者）。

また、応募は推薦に依るものといたしますが、他薦・自薦の別は問いません。

[2] 吉田庄一郎記念・ニコン天文学業績賞

(1) 選考基準（以下のいずれかに該当する者）

- ・新たな天体観測手法の研究・開発で顕著な業績をあげた者
- ・天体観測技術の研究または開発分野で顕著な業績をあげた者
- ・新たな天体観測手法・装置の研究・開発を通じて産業界の発展に顕著な寄与をなした者

(2) 対 象

- ・当該年度当初において50歳以下であること（個人またはグループの代表者）。

また、応募は推薦に依るものといたしますが、他薦・自薦の別は問いません。

2. 表彰件数：両賞とも原則として1件/年
3. 応募期限：両賞とも2025年10月末日
4. 選考結果：両賞とも選考委員会で審査の上、結果ついて2026年1月下旬に文書で通知します。
5. 申請方法：天文学振興財団ホームページ上にWordファイルとPDFファイルを掲載します。
応募書類は、できるだけ一つのPDFファイルにまとめて電子メールに添付し、応募期限までに以下のメールアドレス宛にお送りください。
shinsei@fpastron.jp
天文学振興財団より受理確認メールを返信いたします。
6. 問合せ先：公益財団法人天文学振興財団 事務局
〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1
国立天文台内
Tel: 0422-34-8801
Fax: 0422-34-4053
http://www.fpastron.jp/

会 務 案 内

公益社団法人日本天文学会
2025年度(2025年4月1日～2026年3月31日)
事業計画書と予算書

2025年1月14日に開催された代議員総会において2025年度の事業計画書と予算書が承認されました。事業計画書と予算書は電子版を天文学会ホームページ(<http://www.asj.or.jp>)で公開しています。ホームページ上部の「日本天文学会について」の情報公開をご覧ください。

日本天文学会2025年度事業計画書の概要

事業計画はおおむね例年どおりです。欧文研究報告・天文月報・年会予稿集・ジュニアセッション予稿集の刊行、年会の開催、各種委員会活動、全国同時七夕講演会、各賞の授与、助成金、後援事業に関する事業を行う予定です。さらに2020年度から引き続き「シリーズ現代の天文学」英語版および日本語改訂版の刊行を予定しています。また、2025年度中に2026～2029年度の代議員を選出する代議員選挙を行います。

日本天文学会2025年度予算書の概要

公益社団法人として、公益目的事業の適切な実施とともに、保有上限額がある遊休財産額の適正化を考慮して予算書を作成しました。全体としては事業収益111,225千円・事業費用122,606千円と、費用が収益を上回る予定です。予算上最も大きな事業である欧文報告事業では、投稿料半額キャンペーン実施による減収が見込まれるものの、論文アクセス制限解除（オープンアクセス）の需要増及び円安の影響で引き続き収益が費用を上回る見込みです。年会事業では、開催地費用高騰の影響で例年よりも多くの費用を計上しています。その他については、現会員数に基づく会費収益など、ほぼ例年どおりの経常収益です。経常費用については、事業/法人活動を維持するための定常的費用に加えて、引き続き年会のハイブリッド開催に必要な費用を計上しています。

（文責 庶務理事：勝川行雄，会計理事：鈴木竜二）

事務所からのお知らせ

【移籍・退会について】

2024年度末をもって移籍・退会希望の方で、まだ学会事務所に連絡していない方は、大至急当学会ホームページ「各種手続き」から申請してください。

※退会の届け出がない限り、会員資格は年度始めに自動更新されます。会費の納入を停止しても退会とはなりません。

【会費納入について】

◆正・準会員の皆様◆

2025年度（2025年4月～2026年3月）会費の納入

期限は、2025年4月30日です。

正会員：16,000円

正会員（学生）：8,000円

※学生である旨連絡の上、期限内に納入の場合にのみ学生割引適用

準会員：8,000円

年会予稿集紙版代：4,000円（予約している方）

- ・会費の口座自動引き落とし登録の方は、2025年4月10日に引き落としますので口座残高不足にご注意ください。

通帳には引き落とし代行会社の「JCB」という文字が印字されます。

- ・口座自動引き落とし登録のない方には、3月下旬にメールで支払方法のご案内をお送りします。

メールの利用がない方は、今月号の発送台紙に記載のご案内をご覧ください。

- ・海外在住の方は、会費金額をご確認のうえ、クレジットカードまたは銀行振込等でご納入ください。詳しくは学会ホームページ「各種手続き」の「会費の納入」をご覧ください。

※金融機関の利用明細をもって本学会の領収書とさせていただきます。控えや明細書は大切に保管してください。

◆団体・賛助会員の皆様◆

4月に請求書をお送りしますので、それ以降にご納入ください。

賛助：30,000円（1口） 団体：10,000円

入会・移籍・退会のお知らせ

2024年12月24日に開催された公益社団法人日本天文学会理事会において、正式に入会・移籍が承認された方、退会が報告された方の人数をお知らせします。

入会 正会員：87名 準会員：13名

賛助会員：1団体

移籍 準会員→正会員：2名

退会 正会員：5名 準会員：4名

年会開催地立候補の募集

日本天文学会では年会開催地の決定にあたり立候補を募集いたします。詳しい内容は学会ホームページに掲載しますので、そちらをご覧ください。なお、開催地は立候補状況を見ながら理事会にて決定する予定です。皆様、奮ってご応募お願いします。

2024年度日本天文学会各賞について

2024年度日本天文学会各賞は、2025年1月14日の代議員総会において次のように決定しましたのでご報告いたします。

◇林忠四郎賞（1氏）

井岡邦仁（いおかくにひと）氏・京都大学教授
研究の表題「高エネルギー突発天体の理論的研究」

◇欧文研究報告論文賞（2編）

- ・論文題目：Precision radial velocity measurements by the forward-modeling technique in the near-infrared
著者：Teruyuki Hirano, Masayuki Kuzuhara, Takayuki Kotani, Masashi Omiya, Tomoyuki Kudo, Hiroki Harakawa, Sébastien Vievard, Takashi Kurokawa, Jun Nishikawa, Motohide Tamura, Klaus Hodapp, Masato Ishizuka, Shane Jacobson, Mihoko Konishi, Takuma Serizawa, Akitoshi Ueda, Eric Gaidos, and Bun'ei Sato

出版年等：Vol. 72 (2020), No. 6, article id. 93

- ・論文題目：The origins and impact of outflow from super-Eddington flow
著者：Takaaki Kitaki, Shin Mineshige, Ken Ohsuga, and Tomohisa Kawashima

出版年等：Vol. 73 (2021), No. 2, pp. 450-466

◇研究奨励賞（3氏）

- ・Nugroho, Stevanus（ぬぐろほ、すてふあぬす）氏・アストロバイオロジーセンター特任研究員

研究の表題「すばる望遠鏡の高分散分光によるウルトラ・ホットジュピター大気中の新分子検出と温度逆転層の発見」

- ・ 札幌佳伸（ふだもとよしのぶ）氏・千葉大学先進科学センター特任助教

研究の表題「遠方銀河の多様な物理的性質の観測的解明」

- ・ 藤林 翔（ふじばやししょう）氏・東北大学学際科学フロンティア研究所助教

研究の表題「連星中性子星合体における質量放出・重元素合成の理論的研究」

◇天体発見賞（5氏，12件）

- ・ 板垣公一（いたがきこういち）氏 8件

超新星2024gyの発見，超新星2024wsの発見，超新星2024exwの発見，新星V1725 Scoの発見，超新星2024vfoの発見，超新星2024vsuの発見，超新星2024abflの発見，超新星2024adufの発見

- ・ 大越英比古（おおこしひでひこ）氏 1件

超新星2024ahvの発見

- ・ 中村祐二（なかむらゆうじ）氏 1件

新星V6620 Sgrの発見

- ・ 小嶋 正（こじまただし）氏 1件

新星V4370 Ophの発見

- ・ 大野眞一（おおのしんいち）氏 1件

超新星2024aeceの発見

◇天体発見功労賞（5氏，5件）

- ・ 櫻井幸夫（さくらいゆきお）氏 1件

新星V1723 Scoの独立発見

- ・ 板垣公一（いたがきこういち）氏 1件

新星V4370 Ophの独立発見

- ・ 山本 稔（やまもとみのる）氏 1件

新星V4370 Ophの独立発見

- ・ 藤川繁久（ふじかわしげひさ）氏 1件

新星V4370 Ophの独立発見

- ・ 中村祐二（なかむらゆうじ）氏 1件

新星V4370 Ophの独立発見

◇天文功労賞

長期的な業績（1氏，1件）

- ・ 望月悦育（もちづきえついく）氏

「60年以上の長期間にわたる均質性の高い太陽黒点の継続観測」

短期的な業績

受賞者なし

◇天文教育普及賞（2氏・1団体，3件）

- ・ 加藤恒彦（かとうつねひこ）氏

「4次元デジタル宇宙ビューワー Mitakaの開発」

- ・ 一般社団法人星つむぎの村

「インクルーシブな社会を目指す天文教育普及活動」

- ・ 村松 修（むらまつおさむ）氏

「プラネタリウムによる天文教育普及への長年の貢献」

編集委員会より

天文月報オンラインでは、これまで一部の記事を発行後一年間はアクセス制限することにより、会員限定で公開していました。2025年4月号よりアクセス制限をやめ、それ以降は、すべての記事をパスワードなしで読めるようになります。今後一層、天文月報オンラインを日本の天文学の普及にお役立ていただければ幸いです。

訃報

会員の内海和彦氏は2024年11月14日に逝去されました。満87歳でした。御冥福をお祈り申し上げます。

天文月報オンラインのユーザ名とパスワード

ユーザ名: asj2025

パスワード: 雑誌コード (5桁の数字) と **vol118** (6文字) の計11文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○-▲」の○○○○○の部分です。○○○○○は各号共通の数字です。

編集委員: 津村耕司 (委員長), 岩崎一成, 小野寺仁人, 勝田哲, 川中宣太, 西澤淳, 仏坂健太, 岡本文典, 日下部展彦, 小山翔子, 志達めぐみ, 鈴木大介, 鳥海森, 信川久美子, 橋本拓也, 宮本祐介

令和7年2月20日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

印刷発行 印刷所 〒162-0801 新宿区山吹町332-6

定価733円 (本体667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 株式会社 国際文献社

Tel: 0422-31-1359 (事務所) / 0422-31-5488 (月報) Fax: 0422-31-5487

振込口座: 郵便振替口座00160-1-13595 日本天文学会

三菱UFJ銀行 三鷹支店 (普) 4434400 公益社団法人 日本天文学会

日本天文学会のウェブサイト <https://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp

会費には天文月報購読料が含まれます。

©公益社団法人日本天文学会 2025年 (本誌掲載記事は無断転載を禁じます)